



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月9日  
東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所  
コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558  
四半期報告書提出予定日 2021年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	2,700	9.5	259	23.6	283	40.9	184	22.5
2021年2月期第1四半期	2,466	△17.4	210	△19.0	201	△20.9	150	△19.1

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 304百万円(113.6%) 2021年2月期第1四半期 142百万円(98.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	108.70	—
2021年2月期第1四半期	88.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	13,349	9,844	73.7
2021年2月期	12,866	9,624	74.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 9,844百万円 2021年2月期 9,624百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年2月期	—				
2022年2月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	4.9	300	16.5	300	21.4	210	21.2	123.76
通期	9,000	5.1	520	4.1	520	3.0	360	2.0	212.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期1Q	1,907,850株	2021年2月期	1,907,850株
2022年2月期1Q	211,070株	2021年2月期	211,039株
2022年2月期1Q	1,696,804株	2021年2月期1Q	1,696,861株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年5月31日)における我が国経済は、主要国を中心とした海外経済の回復を背景に輸出や設備投資が堅調に推移しているものの、第3次緊急事態宣言の発令に伴い個人の消費活動が再度制限される事態となり、国内景気は長期低迷が続いております。ワクチン接種の普及により活動制限は徐々に緩和されていくものと予想されますが、普及ペースの遅れや変異ウイルスの再拡大も懸念され、本格的な景気回復基調に入るにはなお時間を要するものと思われまます。

当業界におきましては、個人需要の多様化や企業のデジタル化に加えて、ウィズコロナを前提とした生活様式が常態化することにより顧客ニーズも大きく変化しつつあり、従来型の事務用品の枠を超えた広範な商品構成が求められる状況にあります。また、販売チャネルについても非対面型の販売方法が普及していく中で、国内・海外ともにECマーケットへのシフトが一段と進んでいくものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・機能性やデザイン性に優れた魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、抗菌・抗ウイルス素材を用いた「ALCLEA(オルクレア)シリーズ」が新たにラインナップされたほか、シリコン素材の動物シリーズ「SMART FIT PuniLabo(スマートフィットプニラボ)シリーズ」や軽やかではじけるイメージの「CUBE FIZZ(キューブフィズ)シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしました。

また既存製品では、机収納シリーズの「机上台」、「ルーパーファイル」、「カラークリヤーホルダー」等が引き続きご好評をいただきました。

この結果、事務用品等事業は新製品の積極的な投入や、通販及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。

また不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率が引き続き良好な水準で推移するとともに、賃料単価の確保にも努めたことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,700百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

利益面につきましては、売上増加の効果に加えて、利益率の高い新製品の販売強化やコスト削減努力に伴う利益率の改善により、営業利益は259百万円(前年同期比23.6%増)、経常利益は283百万円(前年同期比40.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

(当社グループの主要な事業であります事務用品等事業は、季節的要因から第1四半期連結累計期間が売上高、利益額ともに大きくなる傾向にあります。)

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	836	31.0	10.7
バインダー・クリヤーブック	647	24.0	10.9
収 納 整 理 用 品	865	32.0	5.9
そ の 他 事 務 用 品	236	8.7	21.3
事 務 用 品 等 事 業	2,585	95.7	10.0
不 動 産 賃 貸 事 業	114	4.3	0.3
合 計	2,700	100.0	9.5

## 【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

## &lt;ファイル部門&gt;

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は836百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

## &lt;バインダー・クリヤーブック部門&gt;

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は647百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

## &lt;収納整理用品部門&gt;

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は865百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー、カルテブック等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は236百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は2,585百万円（前年同期比10.0%増）となり、営業利益は217百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、本社ビルのテナント稼働率が引き続き良好な水準で推移したこと等により、売上高は114百万円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益は42百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ482百万円増加し、13,349百万円となりました。これは主として現金及び預金、電子記録債権等が増加したことによるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ262百万円増加し、3,505百万円となりました。これは主として電子記録債務等が増加したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ220百万円増加し、9,844百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。その結果、自己資本比率は73.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、2021年4月9日発表時より変更いたしておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,797,520	2,313,617
受取手形及び売掛金	1,603,161	1,465,334
電子記録債権	285,623	486,620
商品及び製品	1,821,069	1,654,896
仕掛品	87,153	80,310
原材料及び貯蔵品	492,952	500,163
その他	72,440	107,661
貸倒引当金	△3,687	△3,987
流動資産合計	6,156,234	6,604,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,315,111	2,299,602
機械装置及び運搬具(純額)	189,395	181,801
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	99,318	97,344
有形固定資産合計	5,529,005	5,503,928
無形固定資産	15,091	16,226
投資その他の資産		
投資有価証券	797,995	846,345
その他	374,334	384,213
貸倒引当金	△5,712	△5,712
投資その他の資産合計	1,166,617	1,224,846
固定資産合計	6,710,715	6,745,001
資産合計	12,866,949	13,349,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	322,059	337,958
電子記録債務	200,583	344,917
短期借入金	227,000	214,000
未払法人税等	56,385	91,437
賞与引当金	108,692	147,120
役員賞与引当金	13,460	18,450
その他	410,167	461,606
流動負債合計	1,338,348	1,615,489
固定負債		
長期借入金	524,000	476,000
繰延税金負債	107,587	151,071
役員退職慰労引当金	183,588	178,892
退職給付に係る負債	802,119	797,109
その他	286,951	286,699
固定負債合計	1,904,246	1,889,772
負債合計	3,242,594	3,505,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,446,518	6,546,114
自己株式	△400,992	△401,046
株主資本合計	9,287,387	9,386,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292,533	325,660
繰延ヘッジ損益	19,214	50,065
為替換算調整勘定	62,127	114,727
退職給付に係る調整累計額	△36,908	△33,026
その他の包括利益累計額合計	336,967	457,427
純資産合計	9,624,354	9,844,357
負債純資産合計	12,866,949	13,349,619

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	2,466,027	2,700,613
売上原価	1,623,954	1,755,874
売上総利益	842,072	944,739
販売費及び一般管理費	631,880	684,980
営業利益	210,192	259,759
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	3,779	4,369
受取保険金	2,326	10,119
為替差益	—	9,898
雑収入	1,613	2,157
営業外収益合計	7,726	26,553
営業外費用		
支払利息	1,736	963
支払手数料	1,621	1,687
為替差損	12,584	—
雑損失	972	427
営業外費用合計	16,915	3,078
経常利益	201,003	283,234
特別損失		
固定資産廃棄損	204	126
特別損失合計	204	126
税金等調整前四半期純利益	200,799	283,107
法人税等	50,288	98,671
四半期純利益	150,510	184,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,510	184,436



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益	150,510	184,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,347	33,126
繰延ヘッジ損益	△4,435	30,850
為替換算調整勘定	△886	52,600
退職給付に係る調整額	3,933	3,881
その他の包括利益合計	△7,735	120,459
四半期包括利益	142,774	304,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,774	304,896
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,351,568	114,458	2,466,027	—	2,466,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	498	498	△498	—
計	2,351,568	114,957	2,466,525	△498	2,466,027
セグメント利益	167,351	42,840	210,192	—	210,192

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,585,811	114,802	2,700,613	—	2,700,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	616	616	△616	—
計	2,585,811	115,419	2,701,230	△616	2,700,613
セグメント利益	217,244	42,515	259,759	—	259,759

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。